



JASDAQ

2021年12月15日

会社名 株式会社創健社
代表者名 代表取締役社長 中村 靖
(コード番号 7413)
問合せ先 取締役管理本部長 飯田雅之
(TEL 045-491-1441)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は流通株式時価総額に関しては2024年3月末までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	1,190人	3,523単位	7.27億円	49.9%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25%
計画書に 記載の項目			○	

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

1. 基本方針

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の事業展開と経営体質の強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に適正な利益還元の実行を基本としておりますので、適正な配当を続けながら、現株価を維持し、流通株式数を増加させることによって流通株式時価総額を10億円にすることを基本方針といたします。

2. 課題

流通株式数が増加したときに現株価を維持できるかが、課題の一つであります。また株式保有会社に3.の取組内容をご理解いただく事が、課題の一つであります。

3. 取組内容

当社といたしましては、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』に沿って(オーガニック&プラントベースライフスタイルの提案・WEBの積極的な活用・新規市場の拡大・生産者及びメーカーとの連携強化・環境に配慮した原材料及び包材等への取り組み・ジロモニーブランドの拡売・女性スタッフ発 開発商品拡充)の業績向上とともに、個人株主向けに株主優待制度の見直しを検討してまいります。

また法人大株主へのご説明を既に開始し、お話いたしました株主からはご理解をいただいております。

具体的には普通銀行所有株式(32,700株)、保険会社所有株式(3,200株)、事業法人等所有株式(141,700株)に対象を絞り、個別に以下の取組を行います。

- 1) 所有目的が純投資でない場合は、所有株式の売出しを繰り返し依頼する。
- 2) 所有目的が純投資である場合は、大量保有報告書にて純投資であることの記載を繰り返し依頼すると同時に所有株式の一部売買を依頼する。
- 3) 所有目的が純投資であるが大量保有報告書の提出がない場合は、「保有状況報告書」の提出を繰り返し依頼すると同時に所有株式の一部売買を依頼する。

当社の目標といたしましては、優待品(100株3,000円相当、200株6,000円相当、300株10,000円相当)を考慮して、400株以上の法人株主に対して139,500株の売却又は純投資の表明をいただき、一次判定時の株価2,063.6円とした場合の流通株式時価総額10.14億円を目指してまいります。